

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区名	西成区
学校名	大阪市立新今宮小学校
学校長名	堀端和彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）

- (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全生徒
- ・新今宮小学校では、第6学年 53名

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語A、B、算数A、Bともに全国平均並びに大阪市平均と比較して、平均正答率、無解答率ともに数ポイント下回っている。しかしながら、標準化得点で昨年度の本校で比較した場合、算数A以外は昨年度より少しばかり向上していることがわかる。十分ではないが、少しずつ学力の向上は進んでいるのではないかと考える。

児童質問紙からは例年のように、基本的な生活習慣が確立されていない様子が見られる。また、家庭では学習するよりは携帯電話、スマホなどを使う時間が非常に長い。一方では、将来の夢や目標を持っている児童は多く、ボランティア活動や総合的な学習などには積極的に取り組んでいる。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

領域別でみると、国語においては「書くこと」「読むこと」が苦手で、「相談」「種」などの書き取りでは全国と比べて12～17ポイント低い。「省く」の読みも全国平均より20ポイント近く低い。読解関係はかなり苦手。一方、ローマ字の読み書きは全国平均を上回っている。英語学習の副次的な成果か。

〔算数〕

小数を含む計算、大小比較は全国平均以上あるが、割合、割り算関係は苦手なようである。領域で見ると、「量と測定」が苦手なようであるが、「数と計算」は一定の力を発揮している。基礎基本を中心に計算力に取り組んでいる成果は出ていると推察する。

質問紙調査より

1の「朝食を毎日食べていますか」、2「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」などの質問から分かるように、基本的な生活習慣が定着できていない児童が多いように見える。スマホなどを使う時間が4時間以上の児童が22.6ポイントもいるし、それ以外の時間帯でも、大阪市、全国平均と比較しても長い。こういった状況で、家庭学習に十分な時間を割くことができるはずもない。一方で将来の夢や目標を持っている児童は多めで、ほのかに希望が見える。総合的な学習については積極的に、前向きに取り組んでいる様子が窺える。体験、挑戦を基本ラインとした本校の取り組みに子どもたちはがんばっていると考える。

今後の取組

引き続き、国語、算数の基礎基本の学習を大切にしながら、家庭学習の定着をいかに進めていくかの工夫していく必要がある。同時に家庭学習が無理な状況も含めて、校内でできる基礎基本の定着方策を模索する必要がある。

また、子どもたちの持つ力を引き出すために、総合的な学習の時間などを活用しながら体験、挑戦を基本とした様々な取り組みを工夫しながら、思考力、判断力、表現力に磨きをかける取り組みを進めていく。

本校で取り組んでいる英語学習についても、今回国語のローマ字で副次的な効果があったことも含めて、国語と英語の両方を通じて言語力、コミュニケーション力にも磨きをかけていきたい。

【 全体の概要 】

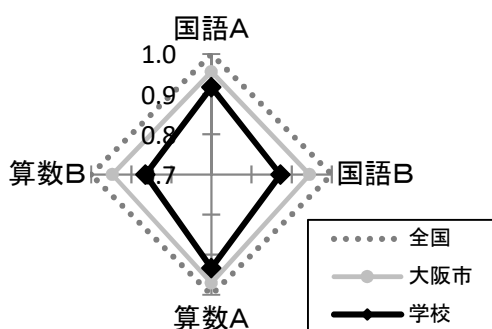
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	66.9	50.4	72.4	40.8
大阪市	69.7	54.6	75.3	44.7
全国	72.9	57.8	77.6	47.2

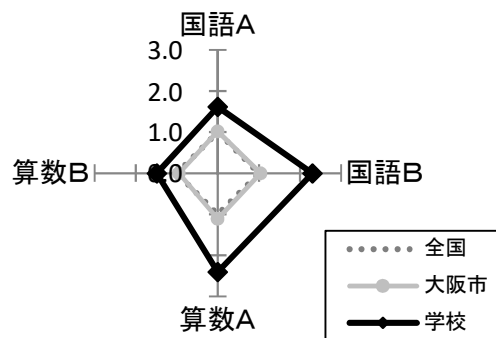
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	8.6	10.6	4.3	11.0
大阪市	5.4	4.8	2.0	7.0
全国	5.3	4.6	1.8	7.4

平均正答率 (対全国比)



平均無解答率 (対全国比)



【 国 語 】

A 問題

平均正答率(%)

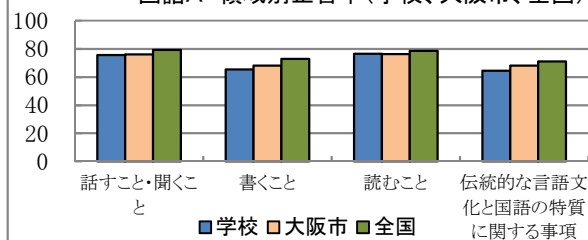
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	75.5	76.1	79.2
	書くこと	2	65.3	68.1	72.8
	読むこと	2	76.5	76.2	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	64.5	68.0	71.1

B 問題

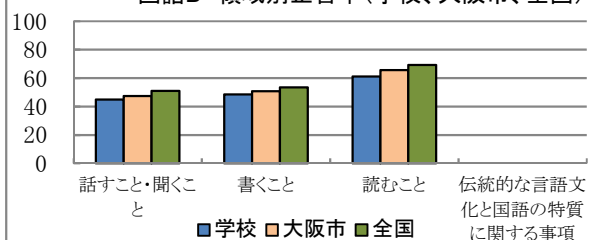
平均正答率(%)

			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	44.9	47.3	51.1
	書くこと	6	48.6	50.7	53.4
	読むこと	3	61.2	65.6	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

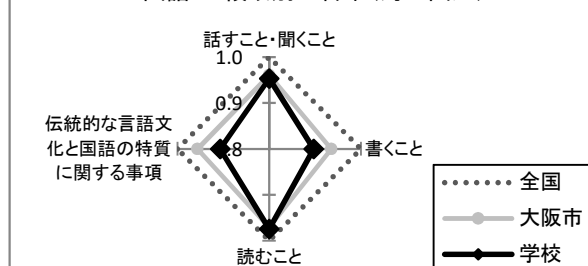
国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



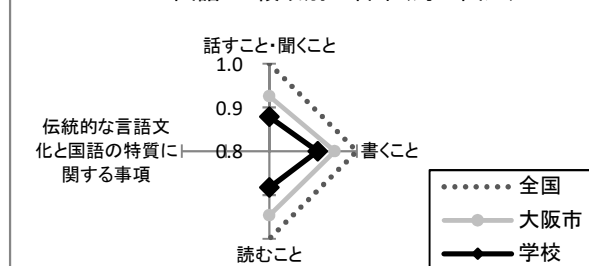
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)



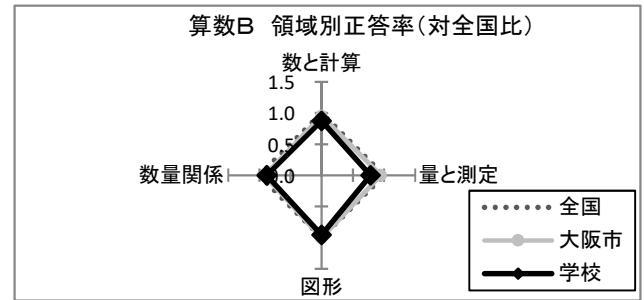
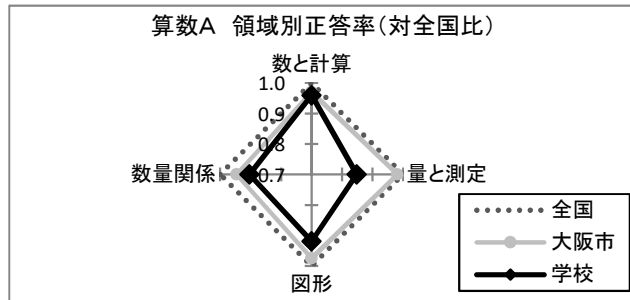
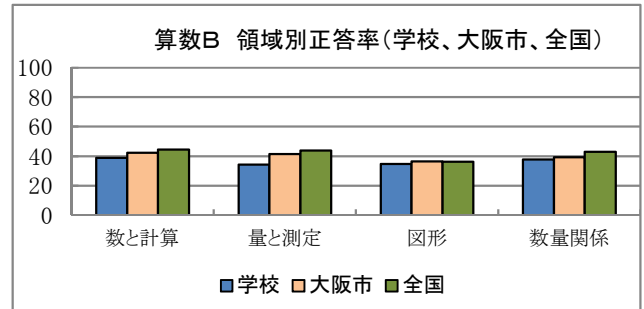
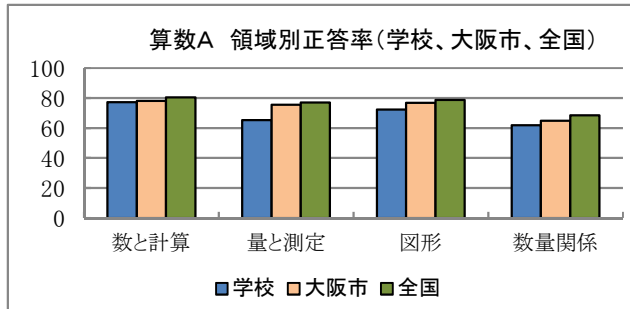
国語B 領域別正答率(対全国比)



【 算 数 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	10	77.3	78.1	80.5
	量と測定	2	65.3	75.6	77.0
	図形	2	72.4	76.8	78.8
	数量関係	3	61.9	64.8	68.5

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	6	38.8	42.3	44.4
	量と測定	5	34.3	41.5	43.7
	図形	3	34.7	36.5	36.3
	数量関係	6	37.8	39.2	42.9



児童質問紙より

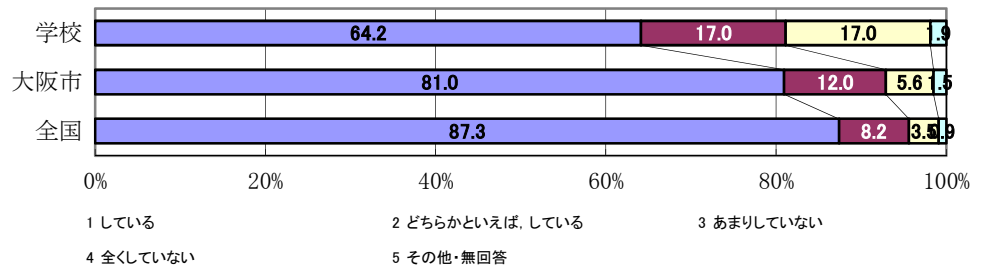
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

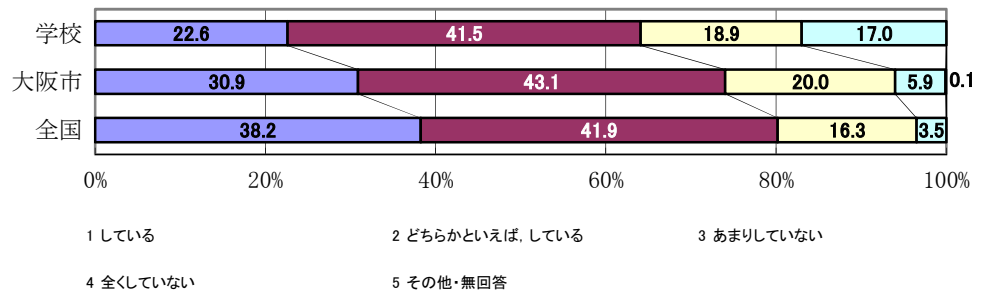
1

朝食を毎日食べていますか



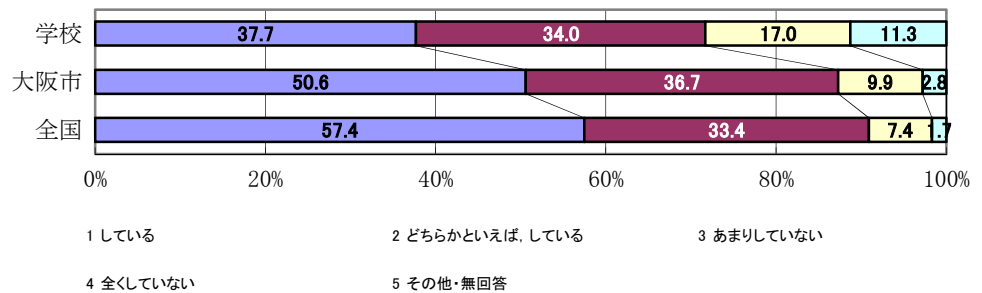
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



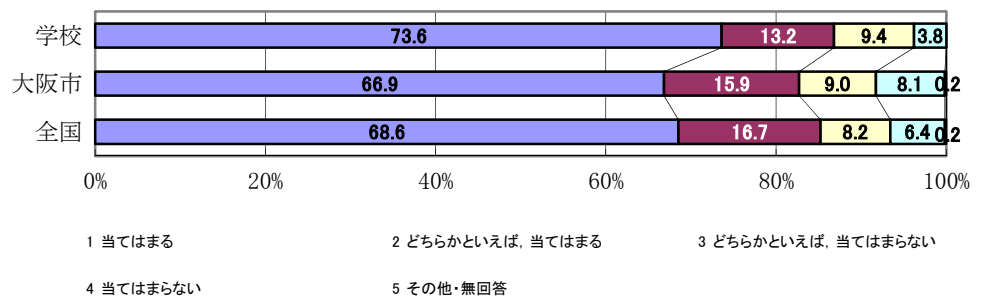
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



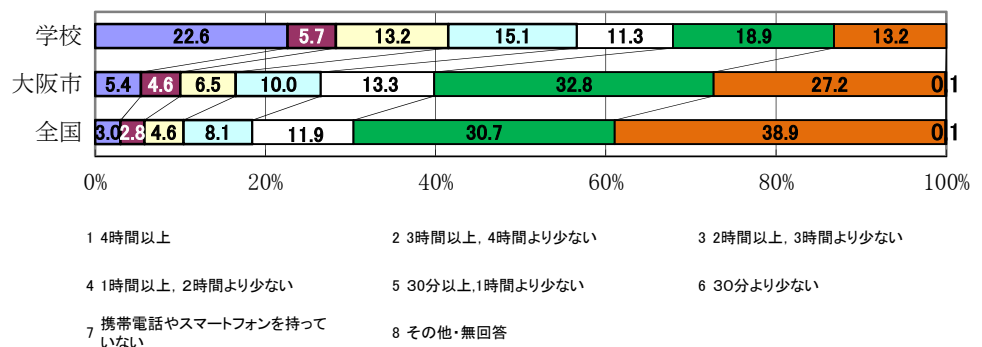
9

将来の夢や目標を持っていますか



13

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



児童質問紙より

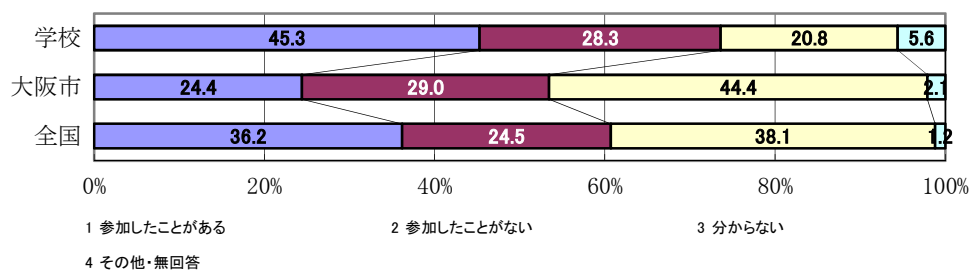
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

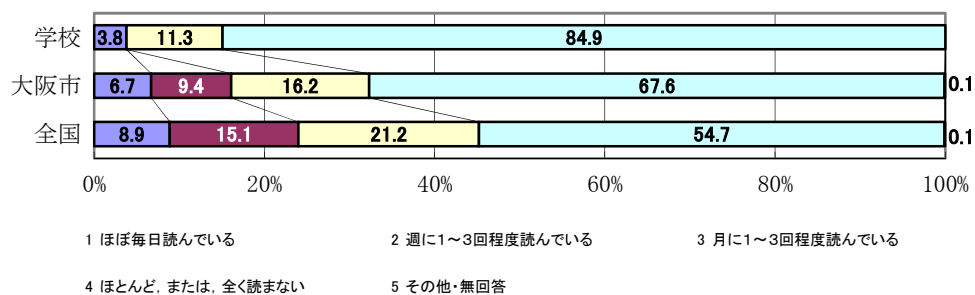
36

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか



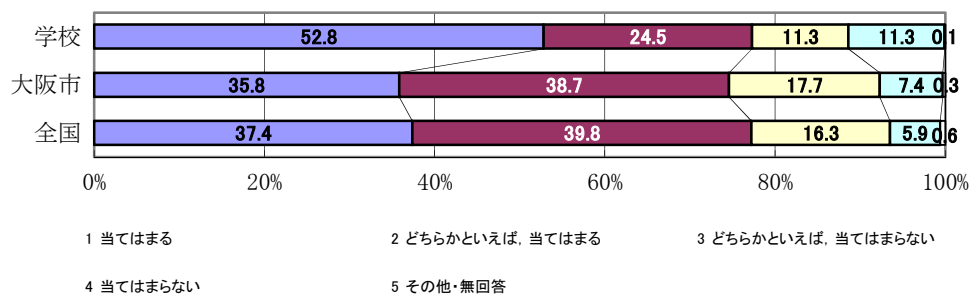
37

新聞を読んでいますか



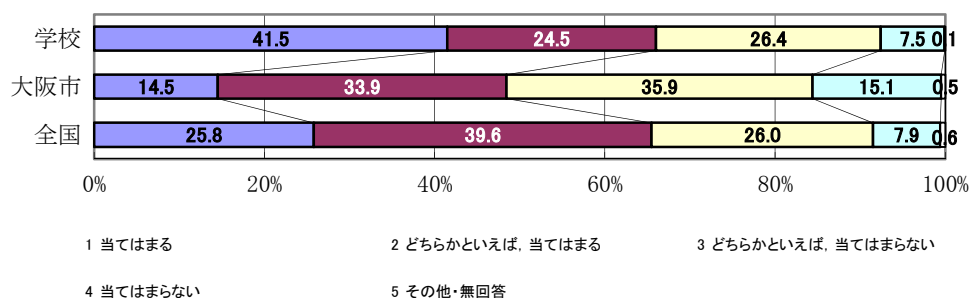
44

「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか



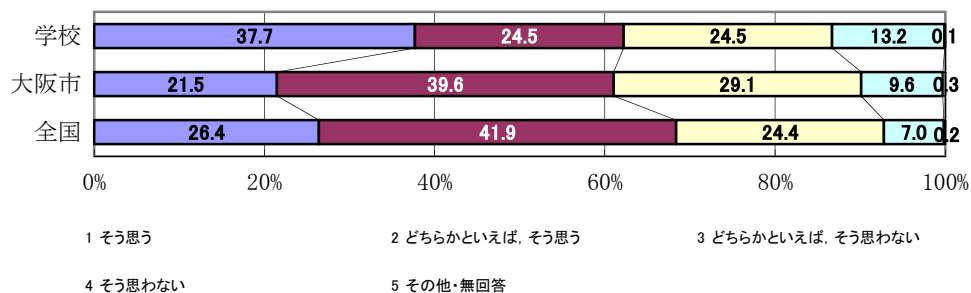
46

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



59

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

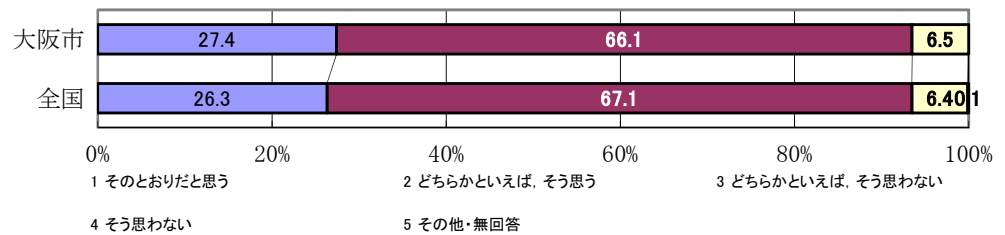
質問番号

質問事項

14

調査対象学年の児童は、
熱意をもって勉強している
と思いますか

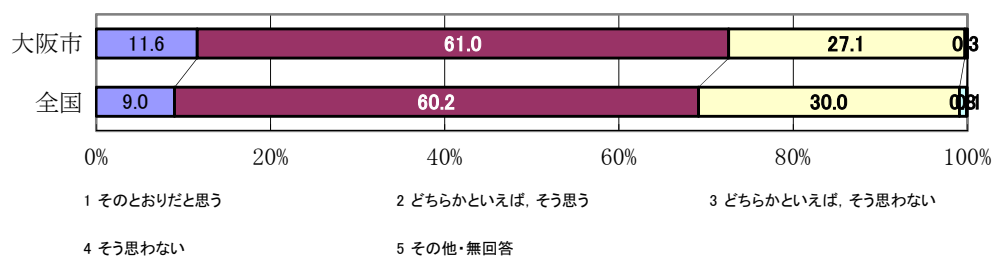
学校 「そのとおりだと思う」を選択



19

調査対象学年の児童は、
学級やグループでの話し
合いなどの活動で、自分の考
えを深めたり、広げたりする
ことができていると思います
か

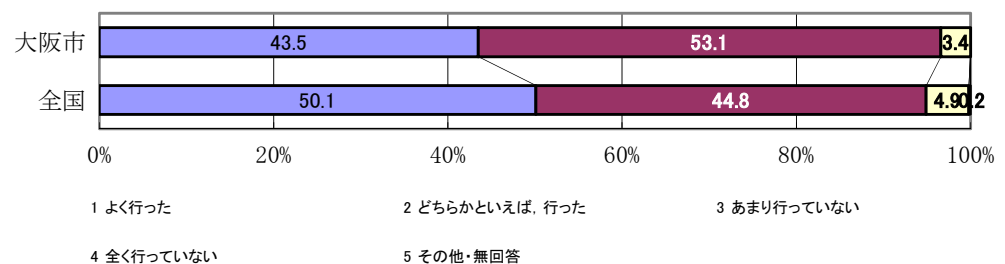
学校 「そのとおりだと思う」を選択



37

調査対象学年の児童に対
して、前年度までに、授業
の最後に学習したことを振
り返る活動を計画的に取り
入れましたか

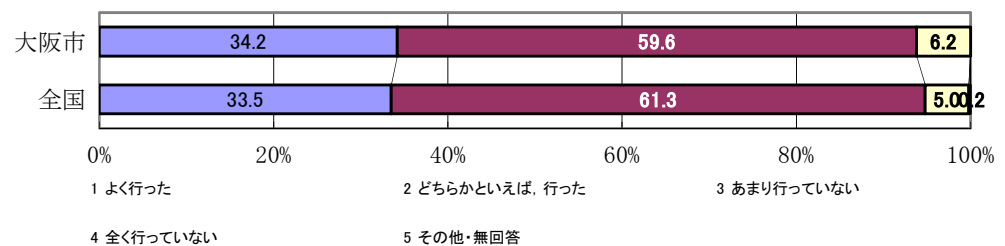
学校 「よく行った」を選択



39

調査対象学年の児童に対
して、前年度までに、様々
な考えを引き出したり、思考
を深めたりするような発問や
指導をしましたか

学校 「よく行った」を選択



56

調査対象学年の児童に対
して、前年度までに、コンピ
ュータ等の情報通信技術(パソ
コン(タブレット端末を含む)、電
子黒板、実物投影機、プロジェ
クター、インターネットなどを指
す)を活用して、子供同士が教
え合い学び合うなどの学習(協
働学習)や課題発見・解決型

学校 「よく行った」を選択

